

令和7年度第1回林業アカデミーふくしま運営会議 開催結果概要

- 1 日 時 令和8年1月20日（火）13：30～15：40
- 2 場 所 林業アカデミーふくしま大講義室
- 3 出席者 別紙出席者名簿のとおり
- 4 結 果 次のとおり

○委員委嘱：（欠席者含め7名を委員として委嘱。）

○座長の選出：（座長に藤野委員が互選。）

○座長代理の選出：（座長代理に田子委員が指名。）

○議事概要

令和8年度研修計画（案）では、新たに「検知」、「萌芽整理」、「はい作業技術」の内容を就業前長期研修に追加した。検知の研修については委員から手検知のみならず、造材や市場価格に関する知識や技術も重視するよう意見が出された。萌芽整理の研修については委員から樹種判別技術の習得も重視するよう意見が出された。

令和8年度就業前長期研修生の確保に向けた取組では、入講者の多くが親族・知人や林業関係者からの紹介によるものであることを報告し、委員とともに口コミの重要性を改めて確認した。また、委員から全国の林業大学校では開校数年後に定員割れが生じやすい傾向があり、本県においても中長期的な対策が必要と意見が出された。

その他では、修了生の就業状況等を報告した。修了生はこれまで42名全員が県内林業事業体等に就業し、各入講年度86%以上と高い定着率を維持している。定着率向上のための取り組みとしては、修了生や就業先との面談で得られたアカデミーに対する要望等を報告し、今後も意見を踏まえながらカリキュラム等の改善に取り組む考えを委員に示した。

このほか、委員から国の施策等に合わせカリキュラムを柔軟に変更していくことの重要性について意見が出され、その一例として森林経営計画制度に生物多様性に関する項目が追加されたことを今後どのようにカリキュラムへ入れ込んでいくかという話題提供される等、今後のカリキュラム改善に向けて活発な議論が交わされた。

以 上